

令和6年度 第1回 高知県公共事業再評価委員会
議 事 要 旨

令和6年11月18日(月) 15:00~16:00
高知共済会館 3階「藤」

津波対策緊急事業(奈半利港海岸) 【事業再評価】

◆主な意見等

委 員 : 当初、予定のなかった係船機能を確保することについて、災害時の強度的に問題はないのか。

港湾・海岸課 : 係船柱の設置を踏まえた耐震設計を行っているため、問題ない。

委 員 : 係船柱を設置することによる費用の増額が見込まれていないようだがどうか。

港湾・海岸課 : 既存の係船柱を再利用することを考えており、費用の増額はない。

委 員 : 係船機能の確保に関する港湾利用者との調整について、事業の着手前・着手後のいずれのタイミングでのものか。

港湾・海岸課 : 現地着手にあたって開催した地元説明会で港湾利用者から意見が出たもの。計画時点でも胸壁の位置は説明していたが、その後、普段利用も踏まえて調整が発生した。

委 員 : 事業着手前にすべてを調整することは中々難しい部分はあるかと思うが、できるだけ計画段階から調整するよう頑張ってもらいたい。

港湾・海岸課 : 承知した。

津波対策緊急事業（大深浦海岸） 【事業再評価】

◆主な意見等

委員：工期がかなり延びるようだが、完成前に津波がきた場合、部分的に完成している区間で機能が発揮されるのか。

港湾・海岸課：優先順位を決めて順次整備を行っており、一定区間が完成すれば、山で区切ることができ、浸水範囲を少なくできる。

委員：部分的に完成している区間を踏まえた被害想定算出は行っているのか。

港湾・海岸課：行っていない。

委員：地元も早い完成を願っていると思う。なるべく早く完成できるように進めてほしい。

港湾・海岸課：承知した。

委員：軟弱地盤となるのはどの区間か。

港湾・海岸課：水面と接している区間で軟弱地盤がみられた。

委員：一部区間において軟弱地盤があったとのことだが、それ以外の区間についても軟弱地盤に対応した工法とするのか。

港湾・海岸課：軟弱地盤の区間のみ。費用・施工性等を鑑み、地盤の状況によって最適な工法を選択している。

委員：地盤の状況はやってみないと分からないのか。

港湾・海岸課：工事にあたっては、事前にボーリング調査を実施し、その結果に基づき最適な工法を決定しているところであるが、計画延長が長いことから、その間の部分において、想定していない地盤状況が見つかったもの。
施工しながら対策工法を変更していかざるを得ない部分もある。

委員：事業費が増額になりやすい事業内容であることを念頭において進めてほしい。

港湾・海岸課：全体的なコスト削減に努めながら、1日も早い完成に向けて、事務所とも協議しながら進めていきたい。